

「連句の集い」川辺高校で開かる

平成26年8月18日（月）、川辺高校の礼法室（茶室）において「連句の集い」が開催されました。この集いが川辺高校で開かれたのは、東京在住の佛淵健悟氏（関東での鹿児島県出身者主体の連句応援団「たもんせ塾」の世話人代表）が昭和43年卒の本校OBであること、また、来年の秋に鹿児島で開かれる第30回国民文化祭を前にして、鹿児島ではあまりなじみのない連句文芸が郷里鹿児島でも根付くことを願ってのことです。

当日は、県内外の連句を愛好する方々が20人ほど集まり、午前中が、佛淵氏を講師としての「連句の面白さと可能性（小林一茶の連句を通して）」という演題での講演。午後からは、会場を会議室に移して、連句実作が行われました。この実作には、本校2年3組の生徒も参加しました。実作終了後生徒たちは、「下の句を付けることが初めての経験で難しかった。」「人が作った句に自分の句を付けることが新鮮で楽しかった。」などと感想を述べてくれました。

礼法室（茶室）での連句の集いの様子



会議室での実作の様子



生徒に向かって説明する佛淵健悟氏

